

令和3年度神戸市人と猫との共生推進協議会 第2回定例会議録

1. 日 時

令和3年11月15日(月) 14:00~16:00

2. 場 所

三宮コンベンションセンター502会議室

中央区磯辺通 2-2-10 ワンノットトレーズビル

3. 出席者

- (1) 構成団体 11 団体の内 9 団体出席、2 団体委任状

(規約第6条第2項の規定により会議成立)

- (2) 出席者氏名 資料1 出席者名簿のとおり (一般傍聴者0名)

4. 議 事

【報告事項】

- ・野良猫の繁殖制限事業について資料 P2~4

本年度10月末現在までに地域猫活動等の支援申込は114件あり、申込による手術の対象猫の数は575匹であった。また、野良猫の多い地域に関する情報提供は、50件あった。

一方、今年度も含め、既に支援を行った地域から猫のTNRについて追加で申込があった地域は205件あった。

事業部会で承認し、支援を行ったのは、今年度に新規支援申込があった地域が104件、過去の年度に申込があり今年度支援した地域が20件あり、計124件だった。なお、このうち重複している地域は32件あった。

今年度も含め既に支援をおこなった地域で、追加の申請があり、本年度TNRを行った地域が213件あった。

手術については、本年度、全市で261の地域に対し1,261匹実施し、累計で9,436匹になった。最終的に本年度中に累計10,000匹を超えることになる。垂水区が実施地域数46、手術数255匹といずれも最も多い。手術数は、垂水区に次いで多いのは、北区の199匹、長田区の189匹となっている。最も少ないのは、中央区の54匹である。

雌雄の別では、雄598匹に対し雌663匹と雌の手術数がやや多くなっている。

年度途中に寄付の増額があったので、年度当初の手術計画数1,800匹が400匹ほど上回ると考えられる。

【感謝状贈呈】

- ・9月にご寄付をいただいた株式会社フェリシモ様に会長から「篤志者感謝状授与規程」に基づき感謝状を贈呈した。

【連絡事項】

(1) 神戸市より

- ・野良猫の繁殖制限事業、譲渡の推進により、殺処分数は毎年減少している。
- ・4月に条例周知のポスターを作成、配布し、多くの自治会の掲示板に掲載された。また、10月にオープンしたこうべ動物共生センターのふれあい室で条例の紹介パネルを常設展示した。

(2) 構成団体より

- ・本年度中に TNR 数が 10,000 匹を超えるということであり、ぜひ検証を行ってほしい。他市の10年間地域猫の個体管理をしているボランティア団体が TNR の割合が7割を超えると猫が増えないというデータを出しており、神戸市でも、モデル地域を定めて検証したらどうか。(knots)
- ・繁殖制限事業の具体的な目標設定ないのでは。指標を決めて検討する必要がある。(神戸新聞)
- ・市の猫の収容数は減少しているが、活動団体が行っている譲渡会では減っているようには思えない。共生センターでの譲渡猫の収容数も当初の計画に比べてかなり少ない。動物管理センターで引き取り、譲渡ができなかった猫については殺処分するのではなく、返却できる制度にしてほしい。

(神戸猫ネット)

- ・共生センターについては、ふれあい室での譲渡会の開催など検討している。定例会議では、繁殖制限事業だけでなく、人と猫が共生できるよういろいろなご意見をいただき、協議の場にしてほしい。(市)
- ・子どもの虐待と動物の虐待は相互に関係があり、福祉部局との連携を図ってほしい。(動物福祉協会)
- ・協議会のことを知らない人も多い。共生センターのこともそうであり、行政はもっとこういった情報を伝えることに努めてほしい。時々婦人会の会合にも出てきて話をしてほしい。(婦人会)
- ・企業として何かできることがあれば協力したい。(ネスレピュリナペットケア、あいおいニッセイ同和損保)